



山川中学校だより

自律 親和 創造

第12号

令和8年3月25日(水)

文責：谷 陽子

○一年の歩みを振り返って

春の訪れを感じる季節となりました。

本日、本校では修了式を行い、1・2年生が一年間の学びを終え、それぞれ次の学年へ進む節目を迎えました。

この一年、生徒たちは日々の学校生活の中で多くの経験を重ねてきました。授業や学校行事、部活動、仲間との関わりなどを通して、4月にはできなかったことができるようになったり、新しいことを知り、考えを深めたりと、一人ひとりが確かな成長を積み重ねてきました。修了式では、その歩みを振り返りながら、次の学年に向けて新たな目標をもつことの大切さを生徒に伝えました。

本年度、本校では「一人ひとりに居場所があり、安心・安全に過ごせる学校」を目標に、教育活動に取り組んできました。学校生活を安心して送るためには、ルールを守ることが大切です。ノーチャイムの学校生活もその一つであり、生徒自身が時間を意識し、規律ある生活をつくるという本校の伝統です。多くの生徒がその意味を理解し、日々の生活の中で意識して行動していたように思います。

12月に行った学校評価アンケートでは、目標の達成はまだ十分とは言えない結果も見られました。しかし、教職員が生徒一人ひとりと向き合いながら指導を重ねる中で、生徒自身も「言われて守る」のではなく、「自ら進んで守る」ことの大切さに気づき始めています。この姿勢は、本校の校訓である「自律」に通じるものです。

また、この一年、生徒が大きな事故なく学校生活を送ることができたのは、交通ルールを守り安全に登下校してきたこと、そして保護者や地域の皆様が日頃から温かく見守ってくださっているおかげでもあります。心より感謝申し上げます。

4月になると、2年生は最高学年となり、1年生は後輩が入学してきて「先輩」と呼ばれるようになります。それぞれが新たな立場で山川中学校を支える存在となります。この一年の経験を土台に、生徒たちがさらに成長していくことを期待しています。

保護者の皆様、地域の皆様には、本年度も本校の教育活動に対し温かいご理解とご支援を賜りましたことに深く感謝申し上げます。来年度も、生徒一人ひとりが安心して学び、成長できる学校づくりに努めてまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



学校の様子を紹介します。

3月5日（木） 修了式（3年生）

翌日に控えた卒業式の予行に先立ち、3年生の修了式を行いました。式では、代表生徒が修了証を授与されましたが、その真剣なまなざしには、この1年間、ひたむきに積み重ねてきた学びの軌跡が凝縮されているようでした。3年生は、身の引き締まるような心地よい緊張感をもって式に臨んでいました。



3月6日（金） 第60回卒業証書授与式

多くのご来賓や保護者の皆様にご参列いただき、卒業証書授与式を挙行了いたしました。式典では、卒業生一人ひとりが堂々と証書を受け取り、3年間の歩みを感じさせる大きく成長した姿を見せてくれました。

在校生や教職員からの温かい祝福に包まれながら、卒業生たちは思い出の詰まった学び舎を晴れやかに巣立っていききました。



3月13日（金） 本年度最後のあいさつ運動



本年度を締めくくる最後の「あいさつ運動」が行われました。当日は、3月中旬とは思えないほどの厳しい冷え込みに見舞われ、空も曇りがちな朝となりましたが、地域の方々や生徒会役員たちは、寒さを吹き飛ばすような元気な声で登校する生徒たちを迎えてくれました。

この1年間、季節や天候を問わず、生徒たちのために温かいお声かけを続けてくださった活動は、学校全体を明るく活気づける大きな力となりました。1年間の多大なるご協力に感謝申し上げます。

3月24日（火） 表彰式・修了式・離任式

本年度最後の表彰式を行いました。表彰式では、駅伝などのスポーツ面だけでなく、エッセーや絵画などの文化面でも、多くの生徒が活躍を認められ表彰を受けました。

その後、修了式を行いました。終始厳粛な雰囲気の中、1・2年生の代表生徒が修了証を授与され、この1年間の歩みを振り返りました。

修了式に続いて行われた離任式では、本校を去る教職員から最後のメッセージが贈られました。生徒たちは、これまでの思い出を振り返りながら、先生方の言葉を静かに聞いていました。別れを惜しみつつも、教わったことを胸に、次年度へと気持ちを切り替える節目の一日となりました。

